

にいざ市議会だより

No.192

●発行日／平成27年5月25日
●発行元／新座市議会
●電話／048-477-1111
●市ホームページ
新座市議会

[新座市議会](#) をクリック

平成27年
3月定例会

6月14日(日)

休日議会・議場コンサート開催

12面

陣屋小学校で行われた入学式

議会の動き

2月19日(木)から3月20日(金)までの30日間にわたって開かれました。

- 2月19日.....副議長の選挙、総務常任委員会委員長の陳情の審査報告、市長施政方針及び市長提出議案の説明が行われ、一部の議案に対して議員が質疑・討論・採決を行いました。(2・3・12面)
- 2月24日～27日.....市長施政方針及び市長提出議案に対する質疑を行い、一部の議案に対して議員が討論・採決を行いました。(2～4・12面)
- 3月6日～16日.....一般質問では24人の議員が質問を行い、活発な議論が行われました。(6～11面)
- 3月18日・19日.....各常任委員会の委員長報告を受けて討論が行われ、議案が議決されました。(3・4・12面)
- 3月20日.....追加市長提出議案や議員提出議案が議決されました。

議決の概要

●市長提出議案

「平成27年度新座市一般会計予算」
「新座市観光都市にいざビジョン等審議会条例」
「新座市いじめ問題対策審議会条例」
「新座市教育委員会委員の任命について」
など46件を可決、2件を同意

●議員提出議案

「新座市議会委員会条例の一部を改正する条例」
「少人数学級の推進を求める意見書」
「ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書」
など6件を可決

可決された主な議案

平成27年度一般会計予算 454億4千万円

(予算編成の基本的な考え方)
例年にも増して限られた財源の中、これまで以上に事業の取捨選択を進め、市民サービスの低下は最小限に抑えるとともに、収収を伸ばすための施策を重点事業と位置付けた。

新座市いじめ問題 対策審議会条例ほか

いじめ防止対策推進法の規定に基づき、いじめの防止等の対策、重大事態の調査等を行う組織として、新座市いじめ問題対策審議会及び新座市いじめ問題再調査委員会を設置するため制定するもの

定例会のお知らせ

6月定例会の開会日は6月3日(水)です。会期日程(案)は、ホームページに掲載しています。

3日	29日	25日	20日	19日	13日	13日	12日	8日	30日	15日	27日	26日	20日	19日	18日	9日	6日	24日	23日	19日	
第2回定例会開会	議会議場常任委員会	文教環境常任委員会	視察(東近江市、八尾市)	視察(東大阪市、西宮市)	視察(富山市、高岡市)	行政視察(坂井市、内灘町、松本市)	行政視察(坂井市、内灘町、松本市)	議会議場常任委員会	議会議場常任委員会	新庁舎建設検討特別委員会	議会議場常任委員会	志木地区衛生組合議会定例会	朝霞地区一部事務組合議会	第1回定例会閉会	全員協議会	新庁舎建設検討特別委員会	議会議場常任委員会	都市高速鉄道12号線特別委員会	全員協議会	議会議場常任委員会	議会議場常任委員会
6月								5月			4月							3月			2月

議会日誌

●インターネットで本会議を生中継(過去の本会議は録画配信)しています。詳しくは「新座市議会中継」と検索してください。

クローズアップ

平成27年3月定例会

平成27年度 市長施政方針に議員が質問！

施政方針は、市長の市政運営の基本方針として、主要事業や予算についての方向性を示すものです。市長施政方針に対する質問を行い、市長に答弁を求めたので、その主なものを要旨を紹介いたします。

問 新座市地方創生推進本部で地域住民生活等緊急支援のための国からの交付金の活用をどのように検討しているのか。

答 同交付金は2種類あり、地域消費喚起・生活支援型の交付金は1億4千83万1千円でプレミアム付商品券の発行事業に全額活用し、地方創生先行型の交付金5千529万8千円は、子育て支援や観光都市づくりを推進するために活用する予定である。主な事業としては備蓄品（粉ミルクや簡易更衣室等）の拡充、総合防災訓練の実施や多子世帯に対する保育料の軽減を計画している。



■5月15日プレミアム付商品券新聞折込チラシ

問 平成27年度は、第4次基本構想総合振興計画後期基本計画の策定に合わせて、市民負担やサービス水準の在り方も含め、今後の財政運営全般について再検討する必要があるが、今後の見通しは。

答 早急に行財政改革推進本部の下部組織に検討部会を設置して、平成28年度の予算編成に間に合うように検討、協議を進める。方針がある程度まとまったら、議員か

らも意見を頂きたい。

問 新座貨物ターミナル駅入口付近の放置自転車対策として、自転車駐車を整備するところがあるが、具体的な考えは。

答 毎日130台以上の放置自転車があり、道路の美観を損ねているので、国道254号の大和田1号歩道橋の階段付近の三角形の土地と大和田3号歩道橋下の土地を定期利用専用の有料自転車駐車場（約80台×100台）にする計画で、7月1日供用開始を予定している。



■7月から有料自転車駐車場を開始する大和田3号歩道橋下

問 大和田二・三丁目地区土地区画整理事業で大きな税収効果が見込めるが、来にわたって見込まれるとあるが、どう試算しているのか。

答 市街化区域としての課税は平成29年度からと見込んでいる。土地利用としては企業の進出を平成31年ごろと想定している。平成31年度から計算をした。約49.5haを区画整理して市街化区域に編入し、良好な町並み形成や企業等の進出を見込んで、平成31年度は約4億800万円、平成32年度は約4億2千800万円、平成33年度は約

4億8千700万円、平成34年度以降は約5億7千500万円の税収増が見込まれると試算している。

問 平成26年度の臨時福祉給付金の支給では一人暮らし高齢者の方の中には趣旨が分からずに申請しなかった方がいたが、平成27年度は漏れなく支給できるように改善しているのか。

答 平成27年度も臨時福祉給付金、子育て世帯臨時特別給付金の制度が引き続き実施されるので、一人暮らしの高齢者に対し、関係課との連携も図りながら、早期にチラシを送付するなど、周知に努める。



■臨時福祉給付金支給の啓発チラシ

問 第2次観光都市にいざビジョン、アクションプランの策定に当たり、2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会開催（埼玉県内ではサッカー、ゴルフ、射撃の3つの競技が行われる）の波及効果を考えた観光振興の取組は、新座市の魅力を発信する大きなチャンスではないか。

答 これからは体験型の観光都市を目指していきたいので、座禅体験、茶道体験、農業体験、生け花体験、手打ちうどん体験などの体験型観光の熟度を高めて、受入体制を作りたいと考えている。また、本市と友好都市の締結をしている国が3か国あるので、東京オリンピックの際には、選手団の受入れ

等も含め、対応策を検討していく。



■睡足軒の森で行われている呈茶の体験

問 県内の自治体でも活性化させているふるさと納税の現状と対外的なアピールはどのように考えているのか。

答 当面は1万円以上を納税した方に2千500円相当の地場野菜を春と秋の年2回送る予定である。

また、新座ブランド認証制度を今年導入するので、新座ブランド品もメニューに入れていきたい。PRは市ホームページや民間の無料サイトで広報していく。平成27年度導入に向けて準備に入る。



問 生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、生活困窮者の子供への学習支援は具体的にどう行っていくのか。

答 学習支援事業としては、現在県がアスポート（生活保護受給者チャレンジ支援）事業を実施しているので、市で引き継いで同じ事業として進めていく。

問 平成27年度は大変厳しい予算編成となり、税収の伸びるまちづくりの推進を考えて地下鉄12号線の延伸や大和田二・三丁目地区土地区画整理事業と同時並行するところがあるが、60億円以上かかる新庁舎建設を行うのは矛盾を感じるがどうか。

答 耐震診断の結果、本庁舎は震度6強で崩れると結果が出ている。庁舎は市民の財産でもあり、大災害時には拠点にもなり、学校校舎や体育館の耐震補強、改修等は完了し、残ったのが庁舎なので、新庁舎建設をやらせていただきたい。



■新庁舎外観イメージ（案）

副議長めいづつし



新座市議会副議長 工藤 薫

平成27年第1回市議会定例会において、議員の皆様への御挨拶により就任いたしました副議長の工藤薫です。

現在、地方分権が進み、地方自治体と地方議会の役割が以前にも増して重要視されています。副議長として平野議長を補佐し、議会の円滑な運営と言論の府としての新座市議会の活性化のために努力してまいります。

また、市民に開かれた公平・公正な議会運営に努め、市民の福祉向上と市民の皆様方から信頼される議会を目指して、全力を傾注してまいります。

市民の皆様方に、議会への一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

平成26年度 議員研修会を開催

市議会主催の議員研修会が1月19日に開催された。講師に明治学院大学社会学部教授の河合克義氏を招き、「社会的孤立問題と生活支援の在り方」をテーマに講演が行われた。



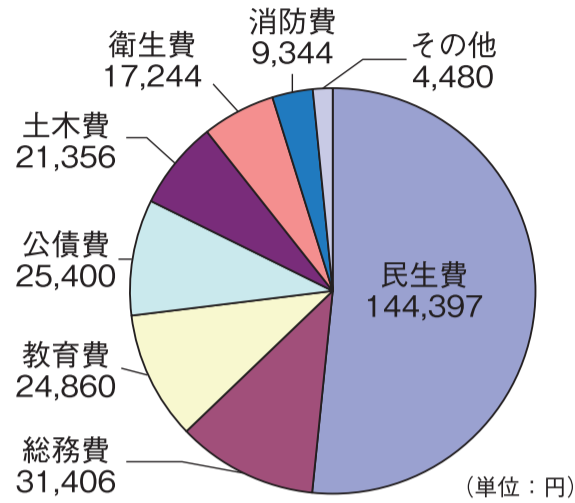
の社会的孤立と現代的な生活支援の在り方について認識を深めることができた。



クローズアップ

平成27年3月定例会

一般会計予算 454億4千万円を可決 民生費が52%を占める



市民1人当たりに使われるお金

■民生費：高齢者、障がい者、保育園などに使われるお金
※人口16万3,169人で算出(平成27年4月1日現在の人口)

3月定例会 議案審議のあらまし 平成27年度一般会計予算など48議案を審議

新堀放課後児童保育室整備事業・市内コンビニエンスストアへのAEDの設置など
—平成27年度一般会計予算を可決—

平成27年度一般会計予算は、歳入について、市民税は景気の持ち直しの影響、固定資産税は地価が上昇傾向にあるため、市税全体では14%の増収を見込んだ。地方消費税交付金は昨年4月の消費税率の引上げによる増加、地方交付税は平成26年度の交付実績や地方財政対策の伸び率等を参考に増加と見込んだ。市債については、新堀放課後児童保育室整備事業や第三中学校校舎バリアフリー整備事業など適債事業に対しては起債を活用することとしたが、投資的事業の縮減を図り、結果として市債総額を減額することができた。歳出では、安心・安全なまちづくり事業、放課後児童保育室の整備、子どもの放課後居場所づくり事業の



■バリアフリー整備によりエレベーターが設置されている第二中学校

拡大、市内コンビニエンスストアへのAEDの設置、(仮称)野火止一丁目集会所の新設、にいざ元気アップ広場の拡大のほか、税収の伸びる豊かなまちづくりの実現のため土地区画整理事業や地下鉄12号線の延伸などを重点的に推進するとともに、市役所新庁舎の建設など、将来を決定付ける取組を盛り込んだ総額454億4千万円として議会に提出された。

議会では、歳入について、「地方消費税交付金の増収分9億円は、

間違いなく社会保障費に使っているのか。具体的な9億円の使い道は「個人市民税所得割が増えたのは土地の譲渡分ということだが、政府統計等を見ると被雇用者の実質賃金は18か月連続のマイナスとなっているが、新座市民の所得は増えたのか下がったのか」「法人税の法人税割を増額して見込んでいるが、事業所にアンケートを取ってどう考えて増額したのか」「公立保育園の延長保育利用料の徴収方法を大幅に変えるようだが、現行からどのように変えようとしているのか」などの質疑があった。



■第二老人福祉センターのにいバスの乗車の様子

歳出について、「第二老人福祉センターは16時で閉館するが、15時45分発のにいバスは帰りの利用者で乗り切れないなどの問題が起きているが、承知しているか。便数を1便でも増やすなど改善すべきでは」「市長車等の維持管理費は運転委託料も含めて、それぞれ幾らなのか」「全身性障がい者介護人派遣事業について、来年度単価1千90円を900円に値下げするということだが、介助者にはその旨の通知を行っていたが、利用者は全然知らなかったという。障がいのある方が事業所に頼んでも介護人がいない、ヘルパーが時間単位で来るようなやり方はできない。そういう実態をよく調べて、今回

の値下げをしているのか」「市制施行45周年記念事業で景観45選、NHKの全国公開放送ラジオとあるが詳細は」「生活福祉課の生活保護担当の職員体制は、職員30名、再任用職員2名である。生活保護世帯もどんどん増えて、2千世帯となっているが、職員1人当たりが取り扱う保護世帯件数、平成27年度は何人の職員でスタートするのか」「平林寺近辺の紅葉時に交通渋滞対策事業を計画しているが、どういった内容なのか」「毎年、教育費は、歳出予算の10%を維持して、新座市の将来の宝である子供たちを育んできた。平成27年度の予算は40億5千666万円で、全体の予算額の8.9%と10%を切った予算配分になっている。どう考えたらいいいのか」「平成22年度に作成した新座市文化芸術振興アクションプランの計画期間が平成27年度で終了し、第2次計画を作るということである。第1次アクションプランで新座市の文化芸術度がどれくらい進んだと考えているのか。また、第2次計画に盛り込みたいと考えている事業は」「立教大学のプールができ、市民にも使わせたいんだけどはありがたい。市の負担額はどうか決めたのか。また、利用料は市民にどう説明していくのか」などの質疑の後、4常任委



■10月から市民利用が開始される立教新座キャンパスに完成した室内温水プール



■東北小学校敷地内に増設される放課後児童保育室の建設予定地

員会に付託し、審査した。
本会議では、「予算額は昨年度と比べて12億9千500万円減っている。結局、約13億円減らされた部分分が石神小学校の大規模改修、新堀小学校の学校給食棟の増築工事、新座中学校の屋外プールの増築工事などの教育費、民生費の福祉の部分にしわ寄せの大半がきていることが最大の課題だ。3つの重点事業である地下鉄12号線の延伸の促進、大和田二・三丁目地区の土地区画整理事業の推進、新庁舎の建設は何かあってもやると言っている。財政が本当に大変だというなら、見直すべきところが違うのではないか」「基本構想の債務残高の見直しでは、どんどん下がると見込んでいたが、大型事業が組み込まれ平成27年度は130億円と債務が膨れ上がっている。今後も公民館、学校などの施設の老朽化の対応、相続に伴う借地の買取りなどの費用がかかり、相当大きな債務となるのではないか」「市の広報、議会だよりなどを新座市民全員に配布するためにどうしたらいいかを考えなくてはならない。町内会への加入率は70%であり、町内会による配布方法は問題である。広報は全戸配布が基本であり、シルバー人材センターを活用すれば全戸配布は簡単にできるのではないか」などの反対討論、「一部の投資的事業は見送られたものの地下鉄12号線の延伸、大和田二・三丁目地区の土地区画整理事業、新庁舎建設の3つの重点事業には引き続き積極的に取り組むことや厳しい財政状況においても市民サービスの低下を原則として行わない方針の下で予算編成が行われ、安全安心のまちづくりに向けた取組や市民のニーズを捉えた事業などが的確に盛り込まれており評価する」「現在の市役所本庁舎は震度6強に耐えられないという診断が出ており、公共施設でいまだに耐震化されていないのが本庁舎である。市民の生活を守るため、市民へのサービスの向上のためにも新庁舎建設の推進はすべきである。苦しい財政の中でも予算が組まれていることを高く評価する」「子育て支援について、放課後児童保育室の大規模化、狭あい化を解消するため、東北小学校の敷地内と新堀小学校の隣接地に放課後児童保育室が増設される。新たに栗原小学校でココフレンド事業が開始されること、こども医療費が引き続き高校生まで無料化されるなど、子育て世代の負担軽減を図り、子育て世代を応援する市の姿勢を高く評価する」などの賛成討論の後、賛成多数で可決した。

10月からは市民利用が開始される立教新座キャンパスに完成した室内温水プール



■新たにココフレンド事業が開始される栗原小学校第2図書室の現在の様子

クローズアップ

平成27年3月定例会

県共同事業拠出金が拡大し、前年度比11・4%の増

―平成27年度国民健康保険事業特別会計予算を可決―

歳入歳出予算の総額は203億994万6千円で、前年度比11・4%の増となっている。歳出の主なもの療養給付費、高額療養費給付金、埼玉県国民健康保険団体連合会への共同事業拠出金である。

議会では、「保険給付費が2億2千393万円の減になっている理由は」「一人間ドック受診者に対する補助で、自己負担額を5千円から1万円にしたが、受診者数がどの程度少なくなったのか」などの質疑の後、厚生常任委員会に付託し、審査した。

本会議では、「一般会計からの繰入れを前年度と比べて1億5千万円減額しているが、減額ではなく、余ったお金を市民に返すべきだ」との反対討論、「特定健診の受診率が低い米、池田地区では、集会所で特定健診を実施することを評価する」「平成27年度も、啓発リーフレットの配布とジェネリック医薬品差額通知書を実施して、後発医薬品を選択しやすい環境を整備してほしい」などの賛成討論の後、厚生常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決した。



物件移転補償、道路築造工事など

―平成27年度新座都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計予算を可決―

歳入歳出予算の総額は5億9千409万5千円で、前年度の当初予算に対し3億9千645万2千円減で、前年度比40%の減額となっている。

歳入の主なもの、国庫支出金1億7千50万円、一般会計からの繰入金2億4千703万4千円、市債1億2千550万円である。

歳出の主なもの、区画整理費として物件移転補償、道路築造工事等のインフラ整備を行うため5億8千190万円を計上した。

議会では、「建物等の移転補償が前年度と比べて予算が4割減になっているが、進捗状況や繰越しが見込まれる状況を明らかにしていただきたい」などの質疑の後、建設経済常任委員会に付託し、審査した。

本会議では、「予算規模は縮小しているが、事業をスローダウンする気のない市の姿勢は良くない」との反対討論の後、建設経済常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決した。



■新座駅北口土地区画整理事業によって歩道幅が進む県道新座・和光線

保険給付費、地域支援事業費など

―平成27年度介護保険事業特別会計予算を可決―

歳入歳出予算の総額は82億6千888万4千円で、前年度比15%の増となっている。

歳入の主なもの、第1号被保険者の保険料20億6千626万4千円、支払基金交付金22億3千160万2千円である。

歳出の主なもの、保険給付費79億1千248万8千円、地域支援事業費1億8千384万2千円である。

議会では、「特に高齢者相談センターの体制を充実させていくとあるが、その考え方は」「認知症予防プログラムをどう事業展開するのか」などの質疑の後、厚生常任委員会に付託し、審査した。

本会議では、「特別養護老人ホームも足りない状況で施設サービスの経費が下がるのは問題だ」との反対討論、「介護予防教室の内容の充実やにいざ元気アップ広場を26か所に拡大するなど充実が図られている」「元気で生き生きとした生活が送れるよう介護保険制度の充実を」などの賛成討論の後、厚生常任委員長の報告のとおり賛成多数で可決した。



■にいざ元気アップ広場事業で軽体操が行われている様子

プレミアム付商品券や新座春まつり事業など

―平成26年度一般会計補正予算(第11号)を可決―

今回の補正予算は、既定の歳入歳出予算に4億5千865万6千円を追加し、総額を504億428万6千円とするものである。

主な内容は交付金を活用し、プレミアム付商品券の発行や新座ブランド認定事業など地域経済活性化等の事業や平成27年度に実施予定の貝沼橋等の耐震改修事業や春まつり等の事業を措置した。

また、固定資産税等の賦課誤りに伴う返還作業が遅れているので、還付不能返還金等の減額をした。財源は、追加交付があった交付税、国庫補助金や市債等を計上し、収支差金を財政調整基金に積み立てた結果、基金の残高は19億4千198万1千円となった。

議会では、「(仮称)新座市版人口ビジョンの作成は委託か」「固定資産税の賦課誤りの計算が間に合わないので、再度4月以降に返す提案になっているがなぜか」との質疑の後、本会議では、「個人の消費喚起にはプレミアム付商品券が有効である」との賛成討論の後、賛成多数で可決した。



■橋の耐震改修工事が予定されている貝沼橋

陳情

今定例会で審査した陳情

(平成25年) 陳情第8号 (仮称)

畑中霊園建設に関する陳情書

(平成25年) 陳情第10号 平成25年4月30日付けで受理した(仮称)

畑中霊園建設計画の取消しを求める陳情書

〔継続〕

文教環境常任委員会

陳情第1号 再び被爆者を作らな

いために現行法(原子爆弾被爆者

に対する援護に関する法律)の改

正を求める意見書採択を求める陳

情書

〔継続〕

厚生常任委員会

結論が出た陳情

(平成26年) 陳情第6号 家賃改

定ルール改善に反対し、安心して

住み続けられる家賃制度を求める

陳情書

〔採択〕

総務常任委員会

地方の声を国へ

今定例会に提出された意見書は

9件で、5件が可決されました。

可決された意見書は、関係機関に

議長名で送付しました。

◆都市再生機構賃貸住宅に安心して

住み続けられる家賃制度を求め

る意見書

平成27年3月20日

〔提出先 内閣総理大臣 国土交

通大臣 都市再生機構理事長〕

◆少人数学級の推進を求める意見書

平成27年3月20日

〔提出先 内閣総理大臣 文部科

学大臣

◆ヘイトスピーチ対策について法

整備を含む強化策を求める意見書

平成27年3月20日

〔提出先 内閣総理大臣 法務大臣

◆「核兵器の全面禁止に向けた法

的枠組み」構築への取組を求める

意見書

平成27年3月20日

〔提出先 内閣総理大臣 厚生労

働大臣

委員会レポート

市議会では、委員会が所管事項の項目ごとに行政視察を行い、行政への提言を行っています。

議会改革特別委員会

1月16日 東京都中野区

△調査項目Vタブレット端末の導入及び運用の状況について

3月定例会で、次の方の任命に同意しました。

◇教育委員会委員
宮 瀧 交 二 氏

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



公明党 鈴木 秀一

振り込め詐欺の撲滅について

問 高齢者を狙った還付金詐欺が、新座市でも発生している。市職員を装うなど手口が巧妙化しており、これ以上被害者を出さないために、あらゆる対策を講じるべきである。詐欺被害防止に効果的な現金引出時の小切手化を広報等で啓発するよう提案するがどうか。

答 預金小切手は、直ちに現金化ができず、受取人を特定できるといった利点があるため効果的と言われている。3月から県警と金融機関が連携して実施すると聞いている。新座警察署とも協議し、市民への周知を早急に図る。

ひばりヶ丘駅北口駅舎のバリフリー化について

問 平成27年1月30日に、西東京市へのバリフリー化の働きかけを求めた新座市民8千164名の署名簿を提出した。市からも西東京市に対して一日も早い実現を訴えかけてほしいと考えるがどうか。

答 3月2日に要望内容を西東京市に説明し、早期完成を要請した。平成27年度からインフラ整備を行い、順次バリフリー化を進めるので、駅舎工事の先行は難しいとのことだった。今後も西東京市に要請し、連携、協力していく。

地域活性化対策について

問 ①プレミアム付商品券の一日も早い実施を求める。②ふるさと名物商品券等、新座ブランド認証制度と絡めた施策の考えを伺う。

答 取り急ぎ4月から7月頃までの早期発注予定の工事については、設計書の単価入替えを実施した。それ以外の工事費は、発注時期の労務単価と予定価格に反映させ、必要に応じて工事費の補正を行うことも視野に入れ、対応を図っていききたい。

地方版総合戦略について

問 昨年、地方創生関連2法案が成立し、県と市に地域の特性を踏まえた地方版の人口ビジョンと総合戦略の策定が義務付けられた。市として今後の取組を伺う。

答 まだ、具体的なものはない。平成27年度に入ったら、新座市地方創生推進検討会議を設置し、市民、市議会議員に意見を頂きながら、地方創生の総合戦略を作り上げていきたい。

公共工事設計労務単価の引上げについて

問 公共工事の予定価格算出に用

AEDスタンバイ設置について

問 事業者にどのように働きかけているのか。設置に向けた検討状況は。また、多くの市民へのAED講習会の一層の充実を図るべきと考えるが、市の見解を伺う。

答 平成26年8月に協定書案をコ



プレミアム付商品券回覧チラシ

③経済効果の見込みを伺う。答 ①可能な限り迅速に進め、より効果の高い消費喚起、地域経済活性化となるよう検討している。②当面は新座ブランド認証制度を進めていくため、ふるさと名物商品券等は検討していない。③12億円の消費喚起効果があり、7億円程度が地域の商店での消費となる見込みである。



政和会 並木 傑

雑木林の保全のための新たな税収策について

問 武蔵野の雑木林を後世に残すため、みどりのまちづくり基金を活用して、市が借りている憩いの森などの雑木林を買収する方策を検討すべきと考える。大阪府箕面市に倣い、(仮称)開発事業等緑化負担税を創設してはどうか。

答 箕面市の例は、開発行為等を行う事業者を対象として条例により課税する法定外目的税である。全国で初の導入であり、慎重な対応が求められることから、今後は、箕面市や他の自治体の状況を見極めながら研究していきたい。

新座駅北口の自転車対策について

問 新座駅北口及び大和田二・三丁目地区の区画整理事業が進めば、自転車を利用して新座駅に来る市民が増え、新座駅北口にも駐輪場が必要と考えるが、今後の計画を伺う。

答 新座駅南口の地下自転車駐車場は、現在1千台強の余裕があり、北口に新たな駐輪場を建設する計画はない。しかし、今後は本年度策定する基本構想後期5か年計画の中で御提案の点も踏まえ、住みよい地域づくりに向けて検討する。

平林寺周辺の環境整備について

問 現在、平林寺惣門から南側の境内林について安全管理上から伐採が行われており、今後、計画されている散策路整備が進めば、観



散策路整備が計画されている平林寺前交差点付近

図っていく。合いの中での仕組みづくりをお願いしたい。



育の会 木村 俊彦

水害時の避難体制について

問 新座市洪水ハザードマップでは、河川流域の低地地区の住民に対しては高台の避難所への避難を指定している。近場での高所避難等、それぞれの住宅環境に応じた柔軟な避難行動への見直しが必要ではないか。

答 平成27年度中に同マップを改定し、今後は、水害時の避難体制として避難所への避難だけでなく、高所避難の有効性も含めたそれぞれの住宅環境に適した避難行動が選択できるように同マップで周知を図るとともに、出前講座や各地域の防災訓練等でも周知の徹底を

要支援、要介護高齢者の社会参加支援について

問 障がい者施策にある外出支援等の社会参加型介助の仕組みが高齢者施策にはない。要支援、要介護になっても、それまでどおりの地域での人間関係を維持し、公民館活動や地域のお茶会などに参加するための支援が必要と考えるがどうか。

答 要支援、要介護高齢者の方の外出支援等の社会参加支援については、効果があることは認識している。しかし、本市の厳しい財政状況や今後も増加を続ける高齢者人口を勘案すると介護保険制度に位置付けのないサービスを市で独自に実施することは難しい。これらの支援等については、地域社会

緑地保全の実態について

問 本市の緑地保全の状況を伺う。答 新座市緑の基本計画では、平成32年度に雑木林面積100haを残す目標を立てていたが、既に平成26年度で95haになってしまっている。



地権者の協力を得て市民に開放されている憩いの森

市政に問う!

一般質問

ダイジェスト

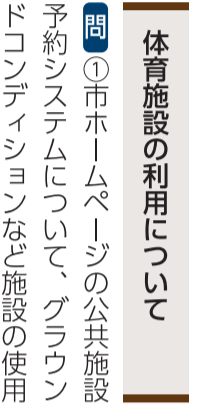


政和会 森田 輝雄

東久留米・志木線の進捗状況について

問 ①全線開通までの見通しを伺う。早期開通のため、強制収用も検討すべきではないか。②水道道路から産業道路までの未整備区間の整備を進めるべきではないか。

答 ①あと一人の地権者である。法的手段を執ることは好ましくない。引き続き理解を頂けるよう交渉していく。②当面は整備中の区間の全線開通に全力を挙げる。未整備区間の整備は、第4次基本構想総合振興計画後期基本計画に位置付けることを検討する。



政和会 榎本 賢治

体育施設の利用について

問 ①市ホームページの公共施設予約システムについて、グラウンドコンディションなど施設の使用可否の情報を発信すべきではないか。②積雪等による冬季の長期使用中止期間の対応策を伺う。③野球場の予約の公平性を保つため、予約しているチーム名等をホームページで開示できないか。④市の連盟等が主催する大会は、利用優先権があるのか。

答 ①グラウンドコンディション等を含めた施設の詳しい情報の掲載を、新座市体育協会と協議する。②冬季のグラウンドは、乾くまで使用を中止し、整備が済み次第使用を再開している。整備していない状態で使用すると荒れてしまい、更に長期間使用できない可能性もある。整備が完了するまでは使用



政和会 森田 輝雄

教育委員会制度の改正について

問 平成27年4月から教育委員会制度改革が施行されるが、今までの独立性や中立性を基本とした執行をどう評価しているのか伺う。

また、今後の新座の教育は改正後どのように進むのか。

答 現状の教育委員会は、レイマーン(一般常識のある人)コントロールの下、市民の意見を教育行政に反映させるという基本方針で進めてきた。

また、財政面でも、教育委員会と市長部局が信頼関係を保ち、教育行政を進めてきた結果、快適な教育環境の確保や生涯学習・スポ

中止とすることが最善の策と考

えている。③予約の透明性を高めるため、表示の方法等について体育協会と協議する。④市の行事が最優先であり、体育協会の加盟団体やスポーツ少年団の主催事業も優先している。ホームページ等で優先順位をどうつけているかも含めて明確にし、納得してもらえ



冬季の霜対策が望まれる栄緑道庭球場

観光都市づくりの評価について

問 平成27年度は観光都市にいざづくりアクションプラン(10年間)の最終年度だが、これまでの成果をどう評価しているのか。

答 平成16年に国の認定を受け、平成17年に観光都市にいざづくりアクションプランを策定、平成18年度を観光都市づくり元年と銘打ち、住んでよし、訪れてよし

の観光都市にいざづくりをスタートさせた。成果としては、市民参加、交流システムの構築が進み、市民との協働によるまちづくりの意識が市民の中に作られてきたと認識している。平成28年度からスタートする第2次観光都市にいざづくりアクションプランを平成27年度に策定していく。その大きな柱は体験型の観光に着目して更なる発展を進める。



ウォーキングコースの散策路として再生整備された野火止用水付近



政和会 小池 秀夫

市制施行45周年、戦後70周年の関連事業について

問 平成27年は、市制施行45周年記念の年となる。また、戦後70周年の節目の年にも当たる。これらに関連してどのような事業を計画しているのか伺う。

答 市制施行記念式典において、通常の市民表彰に加えて、特別表彰、景観45選の表彰、新座ブランドの認証式を行う予定である。戦後70年に関する事業は、毎年8月に開催している平和展で戦争語り部による講演のほか、平和に関連したコンサートや戦争に関連する現物の資料を展示するなど、例年とは内容の異なる特別な平和祈念



政和会 鈴木 明子

商店街の店舗への図書コーナー設置について

問 水俣市では、商店街の振興と読書に親しんでもらう試みとして、商店街の店舗の協力を得て図書コーナーを設置している。本市でも取り組めないか。

答 本市では、事業所等に本を10冊以内、3か月間貸し出す制度がある。この制度を活用した商店街の取組ができないか経済振興課を通じて商店会と協議する。

平成27年度の地下鉄12号線延伸促進活動の主な取組について

問 平成27年度は地下鉄12号線の延伸に向けた勝負の年と言っているが、都市高速鉄道12号線延伸促進協議会及び新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会の活動を含め、平成27年度の主な取組について伺う。

答 我が市としては、何としても光が丘駅から大泉学園町までの都営12号線の延伸に関連して、交通政策審議会の答申に、(仮称)新座中央駅までの一体整備路線として位置付けられるよう新座市のビジョンを全力を挙げてPRし、更

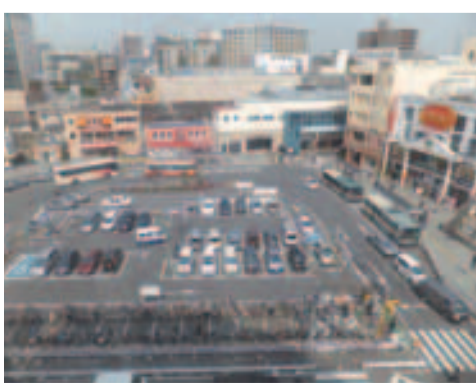
事業を7月25日に市民会館で開催する予定である。また、新座市遺族会が予定している戦後70周年新座市戦没者追悼式に市としても協力させていただく。

フレンドへの移行が急務と考えるが、①ココフレンドの開設時間の延長や長期休業中(夏休み等)の午後の開設に向けた検討と今後の見通しを伺う。②放課後児童保育室の入室児童が多い小学校を優先的に、早期に開設すべきと考えるが、今後の計画を伺う。

答 ①ココフレンドの開設時間等について、運営委員会で協議してきた。今後も市長部局と協議をし、検討していく。②これまでの基準を考慮して、第4次基本構想総合振興計画の後期基本計画に具体的な方向を示し、順次開設校の拡充に努めていく。

志木駅南口周辺整備事業について

問 今後のスケジュールと基本的な整備の考え方を伺う。



広場の再整備が予定されている志木駅南口駅前広場



都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会が作成したポスター

地下鉄12号線延伸促進に関するその他の質問 ○土地区画整理事業について ○関係機関との協議について

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



公明党 滝本 恭雪

民有地の庭の雑草や樹木の管理について

問 住宅敷地内の雑草や樹木が繁茂し、適正に管理されていないため、周辺住民に迷惑が掛かったり、事故が発生するケースが見受けられる。敷地の適正な管理に関し、条例などで必要な事項を定めるような仕組みができないか伺う。

答 私有財産であり、原則は所有者の権利の下で管理するものであるが、他の自治体では、個人の権利よりも地域の安全を重視して、行政が財産権に制限を加えていくという動きもある。今後、関係条例の改正を含め、対応を検討する。

横断歩道や一時停止線について

問 横断歩道や一時停止線が消えている箇所が多い。歩行者が安全に道路を横断できるよう一斉点検し、危険箇所は、関係機関を通して早急な再塗装をすべきと考えるがいかがが。

答 横断歩道等の再塗装は県公安委員会の所管であり、市は新座警察署へ要望する立場にある。平成27年度に入って直ちに再塗装の要望を行えるように、3月中に路面標示の一斉点検を実施する。

栄公民館前のくすのきについて

問 以前から、くすのきの樹木保護盤につまずいて転倒し、けがをする事故が発生している。段差をなくすように保護盤を覆うなど改善すべきと考えるがいかがが。



段差が解消された栄公民館前のくすのきの樹木保護盤

答 くすのきの根の成長に伴い土が盛り上がり、段差が生じていたため、盛り上がった土を除去し平坦にした。また、保護盤の隙間に砂を充填し、改善を図った。今後、パトロールを実施し、段差や隙間が生じた場合には早急に対応を図る。



育の会 城口 博隆

教育改革に伴う新教育委員会委員の構成について

問 教育委員会の活動は、地域社会に大きな影響を与えることから、教育委員会は教育における住民自治の機関とも言える。したがって、新しい教育委員会は、少なくとも中学校区に1人の委員を選任し、住民自治の装置としての機能も強化していただきたいと思うが、市の考えを伺う。

答 現教育長の任期中は、現行体制の5人で行く。教育委員会の委員の構成は、法に則って保護者を入れて構成している。また、市民の声を聞くため、毎学期中学校区ごとに教育懇談会を開催して、市

新しい視点による農業振興・支援策について

問 都市近郊の農業という条件を生かして、新座農業の更なるブランド化や農業と商工業の協働による新座名産品の開発支援など、中期の農業振興・支援策が求められると思うが、市の考えを伺う。

答 過去に農商工連携の取組として商工会と連携してセミナーを2年にわたり開催したが、参加者も少なく新たなリスクを負う6次産業化へ向けての連携や農商工での名産品開発は消極的であった。本市の都市農業の支援策としては、①地産地消の推進、②体験型農業(例えばブルーベリーの摘取



ボランティアの協力を得て管理している市のみかん園

その他の質問 ○市役所の防災・避難時の対策について



翠生会 島田 久仁代

生涯学習の推進について

問 市ホームページの公民館等の講座、イベント、サークル活動に関する情報は、施設・カテゴリー別ができていない。市民の生涯学習活動を支援するため、充実を図ってはどうか。

答 現在のホームページは、段階を踏まないと目的の見たい情報までたどり着けない状況なので、改善を図りたい。また、情報発信についても、公民館がそれぞれ行っている活動の報告や講座等の予定を紹介したいので、改めて内容を充実を図る。



育の会 塩田 和久

待機児童数の公表について

問 各保育園の待機者数をホームページで分かりやすく公表すべきと考えるがいかがが。

答 既にホームページ上で保育園の定員、在園児の数、待機児童の状況等を公表している。今後、もっと見やすくなるようにレイアウトや周知の方法を検討していく。

モバイルレジの導入について

問 携帯電話等で市税が納付できるモバイルレジの導入が進んでいる。時間や場所を気にせず利用でき、労働人口の多い本市でも導入

離婚時の子どもの養育に関する取決めの参考書式配布について

問 離婚時に養育費や面会交流などについての取決めに記入する用紙を配布することについて、市の考えを伺う。

答 法務省作成の養育費及び面会交流についてのパンフレットを市民課窓口を設置し、離婚届の用紙を渡す際に必要に応じて案内しているが、離婚時における夫婦間の子供の養育に関する合意書や子供養育プラン等の用紙は、現在配布していない。用紙の内容や効果的な配布方法等については、今後、調査・研究していきたい。

志木駅南口周辺整備について

問 利用者、周辺町内会、商店会、事業者など関係者から出された意見、要望について、調整をどのように図るのか伺う。



整備に向けて検討が進む志木駅南口周辺

答 これまで志木駅南口周辺整備懇談会の中で検討を重ねてきたが、バス待機所の台数変更の意見が出ており、これから意見の調整を行うが、都市再生整備計画の策定もあり、できれば秋ぐらいまでに、ある程度の方角性は出したと考えている。

災害用備蓄品の有効利用について

問 消費期限がある災害用備蓄品は、町内会単位の防災訓練等で配布しているが、ほかに福祉施設等で、水・ミルク・食料・オムツなど、普段から使い慣れているもので、無駄なく有事の際に慌てず安心して使用できる。また、小・中学校の訓練時にも古くなった備蓄品から配布し、期限切れによる廃棄をなくす対応を図るべきと考えるがどうか。

答 現在、消費期限の近い備蓄食糧等については、総合防災訓練や

自主防災会の防災訓練等で啓発品として配布している。今後、廃棄の無駄を防ぐ観点から、食糧は小・中学校へ、粉ミルクは保育園への配布を検討していく。学校の防災訓練で備蓄品を活用することは有効であるので、関係課と連携、協力していく。紙オムツは使用期限がないため、無駄なく対応している。



災害用備蓄食糧(クラッカー)

市政に問う!

一般質問

ダイジェスト



公明党 白井 忠雄

中野地域の公共下水道整備計画について

問 中野地域における公共下水道整備の実施時期の見直しを伺う。

答 平成32年度までを計画期間とする「新座市公共下水道汚水整備10か年計画」に中野地域は位置付けられていないため、原則的には平成33年度以降の整備予定に組み込む予定だ。平成30年度頃に計画全体の進捗状況を勘案し、認可区域の拡大、整備の前倒し等の見直しを図るが、現状の整備状況では前倒しの整備は可能と考える。



公明党 佐藤 重忠

消防団応援ショップ事業について

問 火災や災害時に大活躍している新座市消防団の団員確保と団員のモチベーション向上を目的として、消防団を新座市全体で支える消防団応援ショップ事業の実施を検討してはどうか。

答 消防団員の郷土を愛する意識と使命感には、心から感謝している。本市はボランティア意識の高い市であり、新規入団者も確保されているので、支援策としては手当てで応えるべきと考える。

認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)について

問 毎年9月第1日曜日の「新座市家族防災会議の日」に合わせた市内一斉の家族全員参加の訓練に加え、市役所、学校、総合防災訓練や自主防災会の防災訓練等でも「シエイクアウト訓練」を実施すべきと考えるがどうか。

答 平成27年度から庁舎消防訓練や総合防災訓練に合わせて実施する。また、各自主防災会に対して、防災組織連絡協議会で実施を依頼する。さらに、市が訓練を実施する場合、教育委員会、学校も積極的に参加、協力していく。

問 野火止四丁目暫定自転車駐車の「一時利用」について

問 高齢者から、「一時利用」を実施してほしいとの要望がある。隣接の野火止四丁目放置自転車返還所の敷地を活用し、返還所の管理人に管理の併任を依頼するなど、

問 国の新オレンジプランでは、認知症の方の意思の尊重、自分らしく暮らし続けることができる社会とあるが、市の施策及び地域包括ケアシステムにどう影響するのかが。特に認知症の介護者への支援はどうなるのか。

答 第6期高齢者福祉計画・介護保険事業計画は新オレンジプランを踏まえて策定した。具体的には、介護者に対する負担軽減につなげるため、認知症ケアパスの普及確立ほか5つの事業を実施する予定だ。高齢者に優しい地域作り、認知症施策にしっかり対応していく。

問 インターネットリテラシー・情報マナー向上への取組について

問 情報ネットワークを正しく利用することが出来る能力(インターネットリテラシー)や情報マナーの向上への取組が強く求められ



「一時利用」が望まれる野火止四丁目暫定自転車駐車場

その他の質問
○旧新座小学校跡地活用計画について
○教育相談室の相談体制の充実について



政和会 浅野 寛子

防犯灯のLED化促進について

問 町内会が設置する防犯灯のLED化を促進するため、市が電気料金を負担するなど、補助の充実を図る考えはないか伺う。

答 市では、設置費や電気料金の助成をしているが、要綱を改正し、LED照明灯の電気料金の補助率を撤廃し、全額補助することとした。

緑のカーテンの拡充について

問 平成27年度は財政上の理由から、市庁舎には緑のカーテンを設置しないようだが、ボランティア



公明党 野中 弥生

新地方公会計制度の導入について

問 ①固定資産台帳の作成状況と課題、②予算編成時や議会審議での財務諸表の活用、③職員の研修をどのように取り組んでいくのか。

答 ①平成20年度決算から総務省方式改定モデルにより、財務書類を作成、公表している。固定資産台帳も段階的に着手して、さらに資産評価を行っているが、新制度により限られた時間内で多くの作業をしなければならぬ。②先進市の活用事例等も参考に有効な活用方を判断していく。③全職員に財務書類等の資料の見方や活用方法の研修を実施していく。

大江戸新座まつりについて



昨年開催された新座阿波踊りの様子

の協力により、ゴーヤ等の苗を育て公共施設に設置したり、また、啓発のため、イベント等で市民に種を配布する考えはないか伺う。

答 公共施設は、購入した苗を植えたり昨年植えたゴーヤから採取した種をまいたり、小・中学校は、苗植えを引き続きボランティアの皆様にお願ひする予定だ。また、緑のカーテン事業普及のため、イベント会場で種を配布できるように検討する。

問 新潟県十日町市では、市の情報発信や会議のペーパーレス化等を目的に、幹部職員にタブレット端末を配備し、昨年12月から運用を開始した。新座市でも同様の取組ができないか伺う。

答 タブレット端末の活用は、先



タブレット端末を利用している様子

投票率向上について

問 期日前投票でいバスを利用した場合に運賃を無料にすべきと思うがどうか。また、にいざほっとがらぎの期日前投票時間を延長すべきと思うがどうか。

答 いバスの運行、利用の現状を勘案すると無料化の実施は厳しい。また、にいざほっとがらぎの時間延長も、施設の開館時間及び構造を勘案すると延長は厳しい。なお、4月の県議会議員一般選挙から期日前投票所を福祉の里にも増設するので、その分析を行うとともに、にいバスの無料化、にいざほっとがらぎの期日前投票時間の延長を含め、総合的に検証、検討していく。

市政に問う! 一般質問

ダイジェスト



育の会 高邑 朋矢

PTA活動の見直しについて

問 小・中学校のPTA活動が負担であるという声を多く聞く。本来のボランティア活動にするよう助言すべきと考えるがどうか。

答 保護者の生活様式が相当変わり、仕事を休めない人が多くなっている現状である。今までと同じ活動を続けるのではなく、それぞれの組織が現状を見ながら、どうしたら活動に参加できる組織になるか考えてほしい。

学校におけるアンケート調査について

問 体罰に関するアンケートが実



育の会 大山 智

ホームページ上に各種補助金のリスト化を

問 このことについて進捗状況を伺う。

答 指摘を頂き、早速、市で設けている補助金情報を集約して、「市の補助金・助成金・融資制度」という項目を新たに設置し、平成26年8月末にスタートした。補助金情報の分別も行い、「子ども・教育」、「高齢者・介護」といった分類にして掲載を行った。今後引き続き市民が情報を探し易いホームページ作りに努める。

Wi-Fiスポット（公共無線LAN）について

問 約60億円の建設費で平成30年1月に開庁の予定だが、オリンピックや東北復興の関係で建設費の大幅増が考えられる。アベノミクスにより市民の生活は大変だ。大型事業を同時にやることに市民は

新庁舎建設について

納得できないのではないかと。答 震度6強で倒壊するという耐震診断の結果を踏まえ、2年間にわたり検討した結果、建替えを決定し、現在、基本設計を進めている。市の財政状況は厳しいが、10億円の基金を活用するとともに、起債や国の補助金を活用するなど、財政負担の平準化、軽減化に努めていく。



新庁舎外観イメージ(案)

問 市民の利便性向上に向けて、携帯電話通信サービス提供会社などのWi-Fiスポットを公共施設に設置してはどうか。

答 現在、市ではジェイコムとNTTから無料設置の案内を受け、公共施設10か所にWi-Fiスポットがある。今後は、災害対策の観点等からも導入費や運用費用等を勘案して、どこかキャリアでも使用が可能になるように拡大を検討するので、時間を頂きたい。

公共施設のトイレについて

問 乳幼児用補助便器の拡充をすべきと考えるが、現在までの設置数と今後の取組を伺う。

答 幼児用補助便器や幼児専用トイレを設置済みの施設又は今年度中に設置予定の施設は、公民館、児童センター、保育園、小学校(1



市役所の多目的トイレに設置された幼児用補助便器



公明党 川上 政則

Wi-Fiの無料サービスエリア拡大について

問 公共施設への無料Wi-Fi環境の整備は、防災と観光のために必要と考える。以前の一般質問では、設置施設の拡大を進めるとの答弁であったが、その後の状況を伺う。

答 無線の届く範囲が狭く、利便性を確保するためには相当の費用を要するが、災害対策と観光の観点からも、設置拡大については検討していく。

「孫育て講座」の開催について

問 さいたま市では「孫育て講座



日本共産党 小野 大輔

市内3大学学生への家賃補助制度について

問 文京区の商店主らで創るNPO法人「街ing(マッチング)本郷」が始めた学生が大学近くの高齢者宅の空き部屋を借りて、ともに生活する異世代のホームシェアの取組がある。本市でも、新たな補助制度の創設を研究してはどうか。

答 NPO法人の働きかけにより2組のホームシェアが実現したと聞いている。学生と高齢者の双方のニーズの調整、運営のための人材、費用の確保も考えると、本市での制度導入は難しいと考えるが、今後の展開を注視し、研究したい。

を開催し、子どもには良い遊び相手に、父母には力強い助っ人に、祖父母世帯には地域参加の場に、一石三鳥の役割を期待している。新座市でも導入してはどうか。

答 現在は単独での講座開設はしていない。平成27年度は、試験的にファミリー・サポート・センター事業の中で実施予定の育児を学ぶ産後育児サポート講習会に祖父母の方々にも参加を呼びかける。その後、参加者からの要望等を聞きながら、「孫育て講座」の実施について検討していきたい。

公共下水道未接続世帯の現状と対応策について

問 平成25年度末で未接続世帯が1千177件ある。未接続世帯への訪問回数を増やすなり、水洗便所改造資金融資制度の返済期間の延長など工夫し、公共下水道に接続す



宅地内公共下水道工事の様子

ることで環境汚染や悪臭での迷惑防止をすべきと考えるが、市の取組について伺う。

給食費への千円補助について

問 学校給食費の負担を軽減してほしいとの保護者からの訴えがある。学校給食への月額千円を補助して、保護者の負担を軽減すべきではないか。

答 給食の実施は、設備、光熱費等を市が負担し、食材のみ保護者の負担としている。毎月千円の補助を実施した場合、毎年1億円以上の経費が必要になる。経済的理由で支援が必要な方は就学援助制度で対応したい。

柳瀬川の土手の安全対策について

問 ウォーキングや自転車に乗る人等、多くの人が土手を通っている。しかし、土手の幅員が狭く、交錯する箇所では、トラブルになっている。左側通行の徹底や安全



安全対策が望まれる柳瀬川ふれあい橋付近

対策を行うべきではないか。

答 遊歩道は通行区分の決まりがなく、徹底した啓発が難しい。更なる安全対策として、水門のストップの手すりや柳瀬川ふれあい橋付近の交差部に、歩行者優先の看板及び路面標示をしていく。また、幅員を広げること一方策かと思うので管理する朝霞県土整備事務所と協議していく。

市政に問う!

一般質問

ダイジェスト



日本共産党 工藤 薫

納税指導の改善について

問 ①差押通知の送付前に、市民の実情把握のため納税指導の在り方を改善すべきではないか。②新座市は滞納者の不動産公売をして

いるが、本税より延滞金が多い場合もあり再考すべきではないか。

答 ①納税指導に当たっては滞納原因に応じた制度の案内をしている。処分の前には、電話連絡や自宅訪問をして納付機会の確保に努めている。引き続き丁寧な対応に努める。②不動産公売は、滞納総額や納付状況等により総合的に判断しており、延滞金の割合の大小は判断基準としていない。



日本共産党 芦野 修

野火止四丁目暫定自転車駐車の改善について

問 同駐車場は、定期利用のみの施設だが、日常的に自転車の駐車は少なく、市民から一時利用を可能にしてほしいとの要望があるの

で一時利用を可能にすべきでは。

答 定期利用の施設で、契約上はほぼ満車である。しかし、市民の要望もあるので、一時利用の実施が可能か、現場を調査して判断したいので時間を頂きたい。

小規模企業振興基本法の具体化について

問 平成26年6月にできた同法では、国が策定した小規模企業振興

後期高齢者医療保険料の改定の影響について

問 厚労省は、平成29年度から9割軽減などをなくす方針だが、保険料を払えない方が更に増えるのではないかと。現在の滞納状況と今後の対策を伺う。

答 平成25年度末の滞納者数は26人、そのうち所得がない人は115人である。保険料や一部負担金の減免申請の周知を図り、分割納付の相談に応じるなど対応を図っている。また、国による激変緩和措置の動向を注視していく。

待機児童の見直しについて

問 新座市子ども・子育て支援事業計画では、5年後に需給バランスがとれ、待機児童は無くなる

としているが、区画整理で人口増を見込む本市の実態には合わない。基本計画に基づき、地方公共団体は地域特性に応じた施策を策定することになっているが、現在の進捗状況は。

答 市内事業所の経営状態や経営者の生の声を把握して、事業者が抱える経営課題を分析するため、4年振りに景況調査を行う予算を提案した。その結果を踏まえ、市の地域特性や経済状況等に応じた実効性のある振興施策の策定ができればと考えている。

建設業退職金共済の証紙貼付率向上の更なる取組について

問 平成25年度証紙貼付実績報告書では85工事で1万7千26枚の証紙を購入し、証紙貼付は1万1千743枚で約6千枚が未貼付だ。一枚も貼付のない工事は8現場あった。

答 証紙の購入枚数と貼付枚数に



建設業退職金共済制度を導入している工事現場の標識



平成27年2月に策定された新座市子ども・子育て支援事業計画

保育園の増設計画を持つべきではないか。特に、待機児童が多い東部第一、東部第二地区の対策を伺う。

答 区画整理事業による急激な人口増など、局地的な増加要因が見込まれる場合には再検討も必要だが、当面は計画どおり進める。東部第一及び第二地区は、隣接地区における保育施設や小規模保育事業の活用等により対応を図る。



日本共産党 笠原 進

国民健康保険税の引下げについて

問 平成26年度に国民健康保険税を引き上げたが、平成27年度予算では、一般会計からの繰入金が前年度比で1億5千万円も減っており、会計は楽になっ

ていない。国民健康保険税を引き下げることができないか。答 平成26年度国民健康保険事業特別会計の収支差は、現時点で約3億6千万円を見込んで



日本共産党 朝賀 英義

要支援1・2を介護保険から外し市のサービスに移行することについて

問 要支援1・2を自治体のサービスとして平成27年度中に移行する自治体は約7%で、多くの自治体は本市と同様に平成29年度の移行となる見込みである。事業者及び人材の確保が課題のようだが、市としてはどのように検討しているのか。

答 平成27年度から長寿支援課内に地域支援係を新たに組織し、関係を中心に事業者の確保、基盤整備等の検討をしていく。

入院分の窓口払い撤廃について

問 入院分の窓口払いを行っているのは、県内40市のうち朝霞地区の4市だけだ。入院分についても、窓口払い撤廃を実現すべきではないか。

答 4市市長会に提案し協議したが、他市の反対があり実現していない。市民の利便性確保や負担軽減を図るためにも、市長会総会に再度提案し、理解を得られるよう努力したい。

新堀二丁目の道路新設について

問 平成26年第2回定例会で「事業として進める」と市長が約束し

介護保険の介護報酬の引下げが事業者にも与える影響について

問 介護報酬の事業者に支払われる介護報酬が大幅に切り下げられようとしている。人材の確保に苦労している事業者への影響を市はどのように考えているのか。

答 平成27年度の介護報酬改定率は全体では2.27%の引下げとなるが、介護職員処遇改善加算等引上げとなるものもある。今回の介護報酬の改定により事業者が一樣に減収となるとは言えないが、減収となる事業所も少なからずあると考えられるので、今後の状況を注視していく。

地下鉄12号線の本市が想定している駅への着工期間について

問 昭和60年の運輸政策審議会の答申から30年経過しているが、現況とまちづくり等を考慮して、

毎年変更するのではなく、長期的な財政運営が望ましいと考えている。

だが、その後の取組状況はどうか。答 市としても必要な新設道路として道路改良10年基本計画パートⅢの見直しの中に盛り込み、整備する方針は決定し、現在、地権者の方と協議している。この新設道路は地域の方々にとって安全対策にもなるので、今後全力を挙げて理解を頂けるよう努力していきたい。



新設道路の整備方針が決定している新堀二丁目地内



都営大江戸線

傍聴しませんか 休日議会 議場コンサートも開催します



平成26年に開催した議場コンサート

市議会では、日頃仕事等で議会の傍聴できない方々にもお越しいただけるように、休日議会（一般質問）を開催します。

また、当日は、市民の皆様様に議会への関心を深めていただくために、十文字学園女子大学吹奏楽部のみなさんをお招きし、議場コンサートを同時開催します。

ぜひ、議場にお越しください。



■日時 / 6月14日(日)

9:30~11:00 本会議（一般質問）

11:00~11:30 議場コンサート

11:30~13:00 昼食休憩

13:00~ 本会議（一般質問）

※議場コンサートの時間は、議事進行の都合により若干変更となる場合があります。

■場所 / 新座市議会議場(市役所本庁舎2階)

■議場コンサート

演奏 / 十文字学園女子大学吹奏楽部

曲目 / ♪サウンド・オブ・ミュージック・メドレー

♪キッチン用品による台所変奏曲 ほか

■申込み / ●先着順100名 ●当日直接受付
(2階の議会事務局で、傍聴の手続きをしてください。)

■問合せ / 議会事務局 電話 048(477)1111

平成27年第1回定例会 議案等の審議結果

●賛否が分かれた議案等の審議結果

(○賛成 ×反対)

区分	議案等番号	件名	議決の結果	政和会				公明党				日本共産党				誕生会	育の会				賛成	反対								
				並木 傑	森田 輝雄	小池 秀夫	平野 茂	榎本 賢治	浅野 寛子	鈴木 明子	亀田 博子	川上 政則	滝本 恭雪	白井 忠雄	鈴木 秀一		野中 弥生	佐藤 重忠	笠原 進	朝賀 英義			工藤 薫	小野 大輔	芦野 修	島田 久仁代	塩田 和久	城口 博隆	高島 朋矢	木村 俊彦
市長提出議案	2	職員の給与と支給の特例に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	退席	×	×	○	○	○	○	○	○	○	19	4	
	7	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	19	5
	15	新座市保育料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	病休	○	○	○	○	○	○	○	○	19	4
	18	新座市介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	14	10
	23	平成27年度新座市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	14	10
	24	平成27年度新座市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	14	10
	26	平成27年度新座市介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	14	10
	28	平成27年度新座市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	14	10
	29	平成27年度新座都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	14	10
	31	平成26年度新座市一般会計補正予算(第10号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	病休	○	×	×	×	×	×	×	×	13	9
	35	平成26年度新座市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病休	○	×	×	×	×	×	×	×	17	5
	36	平成26年度新座都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	病休	○	×	×	×	×	×	×	×	×	17	5
	39	議決議案の再議について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	病休	○	○	○	○	○	○	○	○	20	4
	41	平成26年度新座市一般会計補正予算(第11号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	19	5
43	平成26年度新座都市計画事業新座駅北口土地区画整理事業特別会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	19	5	
45	平成27年度新座市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	19	5	
議員提出議案	4	原発再稼働反対・原発ゼロの民意に応えることを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	10	14	
	5	若者の平和の願いを押し潰す集団的自衛権の閣議決定を撤回するよう求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	9	15	
	6	労働者派遣法及び労働基準法の改悪をさせないことを求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	10	14	
	7	政党助成金の廃止を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	9	15	

※地方自治法の規定により、議長は議案第39号のみ表決権を行使しました。

●全会一致で原案可決等(同意)した市長提出議案

1号	副市長及び教育委員会教育長の給与と支給の特例に関する条例	20号	新座市指定地域密着型介護予防サービスの事業者の指定並びに事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
3号	新座市いじめ問題再調査委員会条例	21号	新座都市計画事業新座駅南口第2土地区画整理事業施行に関する条例の一部を改正する条例
4号	新座市観光都市にいざビジョン等審議会条例	22号	新座市民会館条例の一部を改正する条例
5号	新座市介護予防・日常生活支援総合事業の実施の特例に関する条例	25号	平成27年度新座市下水道事業特別会計予算
6号	新座市いじめ問題対策審議会条例	27号	平成27年度新座都市計画事業新座駅南口第2土地区画整理事業特別会計予算
8号	新座市行政手続条例の一部を改正する条例	30号	平成27年度新座市水道事業会計予算
9号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	32号	平成26年度新座市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)
10号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	33号	平成26年度新座市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)
11号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	34号	平成26年度新座都市計画事業新座駅南口第2土地区画整理事業特別会計補正予算(第5号)
12号	新座市手数料条例の一部を改正する条例	37号	新座市道路線の認定について
13号	新座市立集会所条例の一部を改正する条例	38号	新座市道路線の変更について
14号	新座市立保育所条例の一部を改正する条例	40号	新座市新座ブランド認定審査会条例
16号	子ども・子育て支援法施行規則第1号及び第10号の規定により家庭において必要な保育を受けることが困難である事由を定める条例の一部を改正する条例	42号	平成26年度新座市下水道事業特別会計補正予算(第5号)
17号	新座市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	44号	平成26年度新座市水道事業会計補正予算(第5号)
19号	新座市指定地域密着型サービスの事業者の指定等並びに事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	46号	平成27年度新座市水道事業会計補正予算(第1号)
		47号	新座市教育委員会委員の任命について
		48号	損害賠償の額を定めることについて

●全会一致で原案可決した議員提出議案

1号	新座市議会委員会条例の一部を改正する条例	8号	ヘイトスピーチ対策について法整備を含む強化策を求める意見書
2号	都市再生機構賃貸住宅に安心して住み続けられる家賃制度を求める意見書	9号	「核兵器の全面禁止」に向けた法的枠組み構築への取組を求める意見書
3号	少人数学級の推進を求める意見書	10号	若者が生き生きと働ける社会の実現のため「若者雇用対策法」の早期成立を求める意見書

●全会一致で採択した陳情

6号(H26) 家賃改定ルール改悪に反対し、安心して住み続けられる家賃制度を求める陳情書